

質問事項	質問の要旨
<p>1 今後の保育所の指針について</p>	<p>現在、町内の保育所は第一保育所と第四保育所の二つの保育所があり、第一保育所は0歳児から5歳児までの101人を、第四保育所は3歳児から5歳児までの47人の児童を親元から預かり、自立しようとしている方々の利便と幼児の初期教育を養っています。</p> <p>また、昨年の震災時には保育所長及び保育士の判断で情報収集し、状況に合わせ保育所に待機させ、高台に避難誘導し、一人の犠牲者も出すことなく、安全を確保した行動は類を見ない素晴らしい活躍でした。このことに対し頭が下がる思いと、感謝と共に敬意を表する気持ちでいっぱいです。</p> <p>その教訓を生かすためにも、今後の保育所の運営について伺いたい。</p> <p>(1) 本町の復興計画の中に、今後の保育所の在り方について指針が述べられていないが、今後の指針はいつ示されるのか伺いたい。</p> <p>現在、鷲神と浦宿にある保育所だけでは、女川・清水方面に居住する親御さんは、毎日の生活で一抹の不安が付きまとい、いつ震災が起きるかわからない中で、現状の復興状態では、子</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>子どもを迎えに行くにも大変なリスクと危険が伴うと言っています。</p> <p>本格復興まで7年以上かかり、不安要素の解決を早急に考えるべきと思いますが、当局の考えを伺います。</p> <p>(2) 高台移転候補地への保育所建設計画はあるのか。また、あるとするならば候補地の場所は、どの地域になるのか伺いたい。</p> <p>(3) 子育て支援センターの今後の在り方についても同様で、保育所に何らかの事情で預かることができない家庭もあると聞いているが、これらの事情を考慮した考えを伺う。</p> <p>(質問の相手：町長)</p>
<p>2 カメムシの異常発生と セアカゴケグモ対策</p>	<p>今年のカメムシの異常発生で、仮設住宅住民は日夜頭を抱えています。だんだん寒さが増す毎に、仮設住宅内に侵入してきています。仮設倉庫は先日引き渡しを受けたばかりですが(10月中旬)、その倉庫の中に隙間から侵入したカメムシが数十匹、いたるところでうごめいており、まるでカメムシの巣のようでした。今後寒さが増す毎に活動が鈍くなるの</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>で、暖を求め家庭内に侵入するのではと心配しています。</p> <p>また、セアカゴケグモの県内での生息が確認されています。荒廃した本町にもその危険性の及ぶことが危惧されますが、その対策をどう講じるべきか伺います。</p> <p>(1) カメムシは来年の春になると活動が活発になり、さらに増え続けると思われるが、山が近いから仕方がないということではなく、今のうちに何らかの対策を講ずるべきと思いますが、当局の考えを伺う。</p> <p>(2) 外来種のセアカゴケグモは、県内でも発見されたと報道されていますが、本町としても外国船が石巻工業港に入港しており、復興のどさくさに紛れ、町内に侵入しないように警戒すべきと思うが、当局の見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：担当課長)</p>